

National

石油ストーブ

(自然通気形開放式石油ストーブ)

取扱説明書

品番 **OS-L26D**

保証書別添付



もくじ

安全上のご注意 (必ずお守りください) …… 2

各部のなまえ …… 7

ご使用前の準備

- 点火する前の準備と確認 …… 8
- 使用燃料について …… 8
- 給油のしかた …… 9

使いかた

- 点火・消火のしかた …… 10
- 炎の調節のしかた …… 12

日常の点検とお手入れのしかた … 14

定期点検について …… 15

故障かな? …… 16

部品交換について …… 17

保管のしかた …… 17

保証とアフターサービス …… 18

仕様 …… 裏表紙

お使いになる前に

使いかた

お手入れ・保管



このたびは石油ストーブをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。




正しく使って上手に節約

安全上のご注意




必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


 **危険**

■ガソリン厳禁




ガソリン厳禁

- ガソリン、混合油（農機具用）など揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。灯油（JIS 1 号灯油）を使用してください。


 **警告**

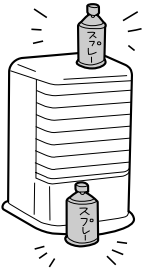
■換気必要




- 換気せずに使用しつづけないでください。窓の凍結や地下室など換気が十分行えない場所では、使用しないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。

■スプレー缶厳禁






- 殺虫剤などのスプレー缶をストーブの上や前に絶対に放置しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。


 **警告**

■寝るとき消火




- 寝るときや外出するときは、必ず消火してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

■給油時消火



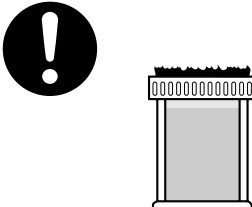
- 給油は、必ず消火ボタンを押して、消火してから行ってください。火災の原因になります。

■油漏れ危険




- 給油口口金は正しく、確実に締めてください。
- 口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金が外れて、火災の原因になります。
- 給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。

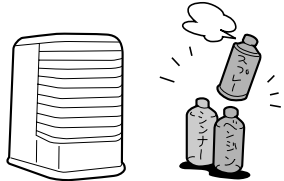
■正しい炎の状態で使用
使用する（13 ページ）



- しんを下げ過ぎた状態で使うと、不完全燃焼し、においや一酸化炭素の発生の原因になります。器具を傷めることにもなります。


■可燃性ガス使用厳禁






- ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）やスプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。


■カーテン、可燃物近接厳禁






- カーテンや衣類、ふとんなど燃えやすいもののそばで使用しないでください。火災の原因になります。


■やかんのせ禁止

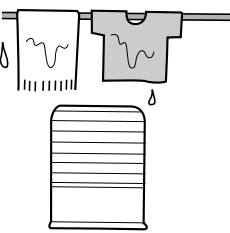




- やかんなどをのせないでください。振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。
- 水滴が燃焼部や内部にかかると異常燃焼や故障の原因になります。


■衣類の乾燥禁止






- 衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

■風が当たる場所で使わない





- 屋外や部屋の出入口などで使用しないでください。
- 掃除機の排気、エアコンや扇風機の風が当たらないようにしてください。異常燃焼や火災の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

■居室内給油禁止・給油時火気禁止



- 給油は必ず居室外の火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。

■燃焼中移動禁止



- 燃焼中や消火直後は持ち運ばないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると、火災の原因になります。

■異常時使用禁止



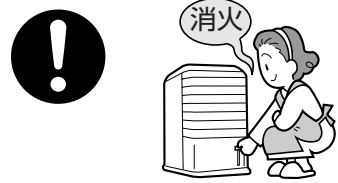
- すずの発生、におい、炎の色など異常を感じたときや油漏れがあったときは使用しないでください。緊急の場合でもあわてずしんを下げて消火してください。

■変質した持ち越し灯油使用厳禁



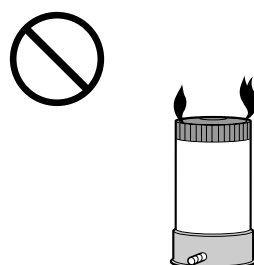
- 異常燃焼や故障（点火しない、しんが下がらなくなるなど）の原因となることがあります。

■消火ボタンを押しても、消火しないときは操作つまみを消火位置まで引き上げる



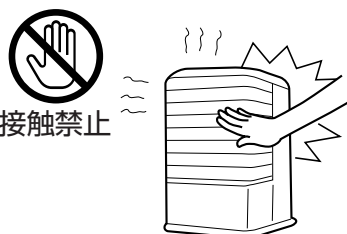
- 消火を必ず確認してください。しんにタールがたまっている場合がほとんどですのですぐに「しんのお手入れ」をしてください。（※15ページ）

■部分的な過大炎や赤熱ムラが出たまま使用しない



- すず発生や不完全燃焼の原因になります。

■高温部に手をふれない



- 燃焼中や消火直後は、燃焼部や高温部（天板やガード）に手などふれないでください。やけどをします。

■直接長時間あたらえない



- 低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

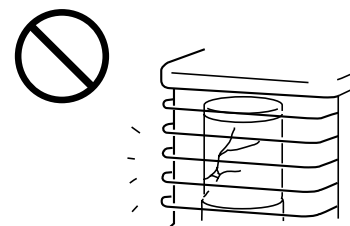
特にお子さまやお年寄りなど、ご自分で操作できない方が使用するときには、周囲の人が十分注意してください

「低温やけど」について

- 比較的低い温度（40℃～60℃）でも長時間皮ふの同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。
- 次のような方は特にご注意ください！
 - ・乳幼児、お年寄り、皮ふの弱い方
 - ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
 - ・深酒・疲労の激しい方

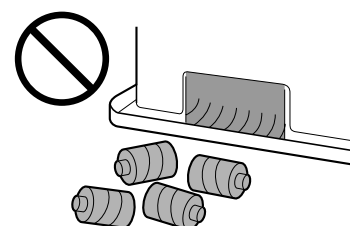
注意

■燃焼筒のガラスが割れたまま使わない



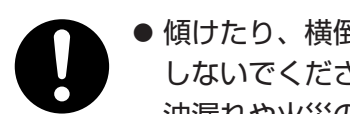
- 燃焼筒のガラスが欠けたり、割れて破損したままの状態では、絶対に使用しないでください。異常燃焼したり、すずが発生するおそれがあります。

■新旧・異種の乾電池を混ぜて使わない



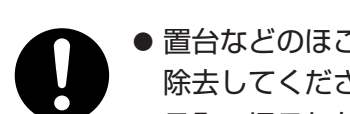
- ⊕ ⊖ を間違えない。
- ショートさせない。
- 分解、加熱、火への投入をしない。乾電池の破裂や液もれのおそれがあります。

■長期間使わないときや保管時は灯油を抜き、乾電池をはずす



- 傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。油漏れや火災のおそれがあります。

■ほこりの除去



- 置台などのほこりを、ときどき除去してください。ごみ、ほこりなどがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

■持ち運ぶときは消火し給油タンクを抜く



- 傾けないように静かに運んでください。特に階段などでは油漏れのおそれがあります。
- 引っ越し等の運搬時は必ず灯油を抜き、傾けたり、横倒しの状態で運搬しないでください。

■消火後約2分間は再点火しない



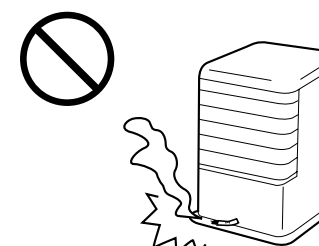
- 生ガスが発生し、激しいにおいと異常着火をおこします。

■ストーブをひきずらない



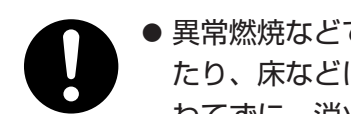
- 床面、畳、じゅうたんなどを傷つけたり、本体底面の塗装がはがれてさびの原因になることがあります。

■マッチの燃えかすを器具内に落としたり、置台の上に置かない



- ガスライターもストーブの上や前に絶対に放置しないでください。火災の原因になります。

■万一、事故がおこったときはあわてずに消火器で消火する



- 異常燃焼などでストーブから火が出たり、床などに火がついたときはあわてずに、消火器で消してください。

■破棄するときは灯油を抜く



- ストーブを廃棄処分するときは、必ず給油タンク、油受皿内の灯油を抜き取ってください。灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故になるおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

■高電圧に注意



高圧注意

- 点火電極は点火時に高電圧を発生させます。電池を取り外した直後、操作つまみを押し下げると、高電圧を発生する場合があります。手を触れないでください。感電するおそれがあります。特にお子さま高齢者の方にご注意ください。
- 点検・手入れ、掃除をする時は必ず乾電池を取り外し、操作つまみを押し下げ、放電させてください。

■純正部品を使用する



- しんなどの部品は必ずナショナル石油ストーブの純正部品（指定された部品）を使用してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

■分解修理・改造の禁止

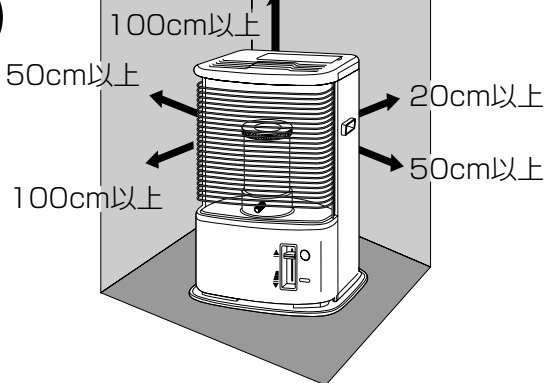


分解禁止

- 改造して使用しないでください。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解、修理は行わないでください。
- 故障、破損したら、使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になることがあります。

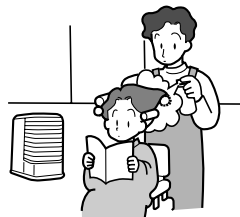
使用場所について

■可燃物から離す



ふすまや障子などの可燃物から上記の距離をとらないと火災のおそれがあります。

■スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない(理・美容院、クリーニング店、メッキ、塗装、脱脂、洗浄工場など)



フロンガスや塩素系溶剤は有毒なガスの発生により、健康を害することになります。また、鏡やガラスなどを傷め、金属がさびたり、繊維製品の変色・損傷、器具の故障の原因になることがあります。

■次の場所では使わない



- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 風の当たる場所や部屋の出入口
- 可燃性ガスの発生する場所・たまる場所
- 人のいない場所（温室、飼育室など）

- マントルピースなどストーブが囲われる場所
- ほこり、湿気、金属粉の多い場所

- 直射日光が当たる場所

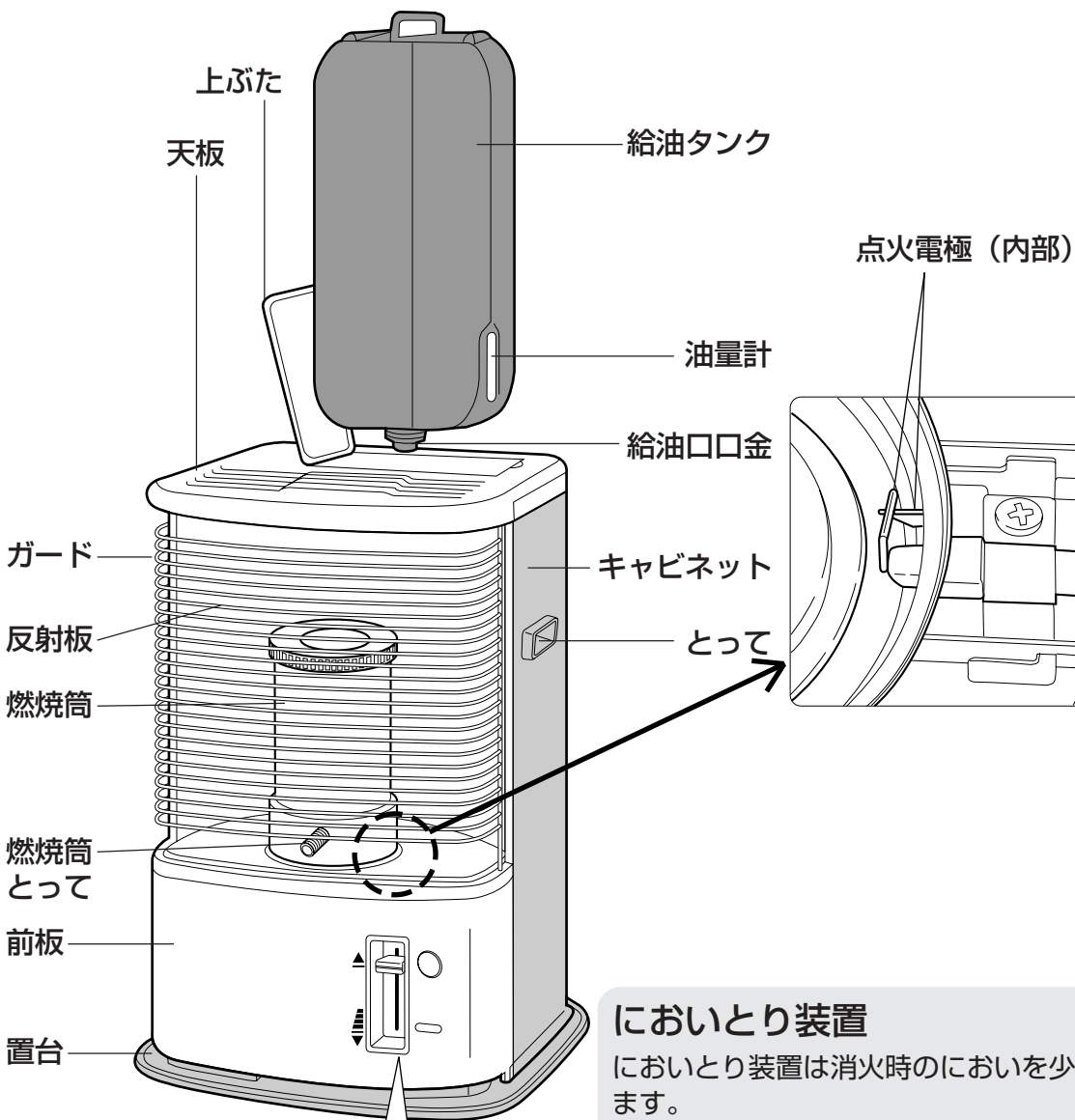
火災の原因になることがあります。

不完全燃焼の原因になることがあります。

給油タンク内の空気が膨張し、灯油があふれ出て、油漏れの原因になることがあります。

各部のなまえ

本体



においとり装置

においとり装置は消火時のにおいを少なくします。

- 消火時、約2分音がしますが、においとり装置の作動音で異常ではありません。
- ラジオなどを近づけるとにおいとり装置作動時に雑音が入るおそれがあります。
- 乾電池が消耗すると点火しにくくなり、においとり装置は作動しなくなります。

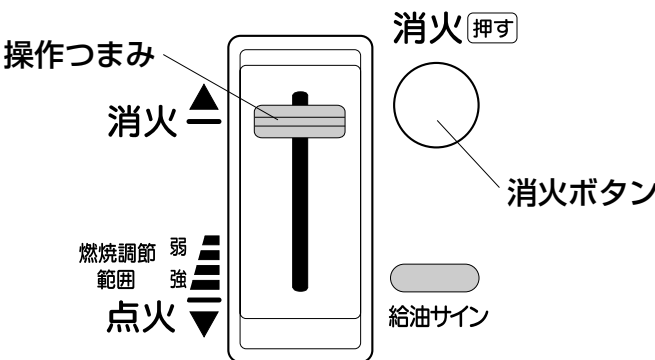
電子点火装置

- 高電圧放電をして、しんに点火します。
- 乾電池が消耗すると点火しにくくなります。

給油時自動消火装置

- 燃焼中に給油タンクを持ち上げると、安全のために自動的に消火します。
- 給油時は消火ボタンを押して消火してから給油タンクを取り出してください。

操作部



お使いになる前に

ご使用前の準備

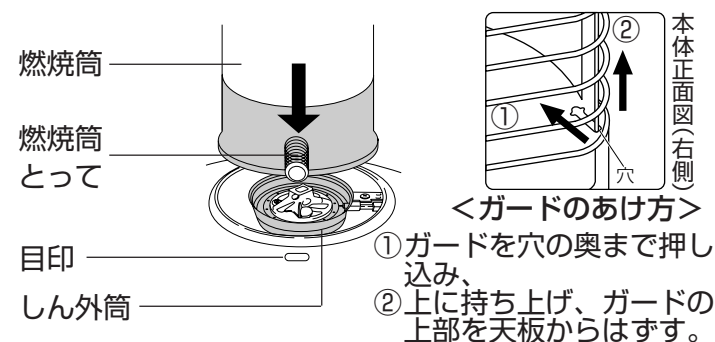
点火する前の準備と確認

■ストーブを取り出す

- 各部の包装部材を全て取り除きます。
詳しくは、箱上面の「開このしかた」をお読みください。

■燃烧筒をセットする

燃烧筒をしん外筒にのせ、燃烧筒とてを2～3回左右に動かし正しくセットする。



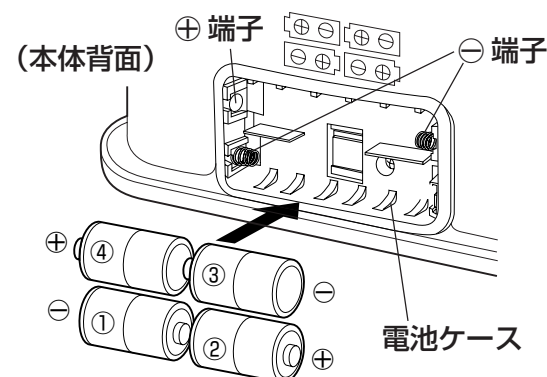
- 燃烧筒とてが目印（○）の範囲内になるよう位置を合わせる。
- 燃烧筒が傾いていたり、ガタついていると、すすやにおいなどが発生する原因となります。

■水平を確認する

- 水平で丈夫な床面に設置する。
- 水平になっていないときは、水平な場所に移動する。

■乾電池を入れる

- 乾電池は別売です。
単2形の同じ種類の新しいものを4個用意してください。
- 電池を取り付けるときは、⊕⊖を正しくセットし、①、②、③、④の順序に⊖側からセットしてください。
(逆の手順で行うと⊖端子が変形するおそれがあります)
- 電池の寿命のめやす(1日5回、5ヵ月間使用の場合)
アルカリ乾電池: 約2シーズン
(パナソニック(金)単2形 LR14(G))
マンガン乾電池: 約1シーズン
(ナショナルネオ(黒)単2形 R14PU(NB))



使用燃料について

燃料は必ず灯油（JIS 1 号灯油）を使用してください。

⚠ 危険

ガソリン厳禁

- ガソリン、混合油（農機具用）など揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
ガソリン厳禁 火災の原因になります。

⚠ 注意

変質した持ち越し灯油使用厳禁

- 異常燃焼や故障（点火しない、しんが下がらなくなるなど）の原因となることがあります。

■灯油とガソリンの見分けかた

指先につけ息を吹きかける。
(火の気のない所で行ってください。)

- 灯油はぬれたまま
- ガソリンはすぐ乾く
(区別が付きにくいときは、お買い上げの燃料店にお問い合わせください。)



■変質灯油・不純灯油は使わない

変質灯油とは

- 古い灯油（昨シーズンより持ち越した灯油）
- 日光の当たる場所、高温の場所で長期間保管した灯油。
(特に乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて保管したものは短期間で変質します。)

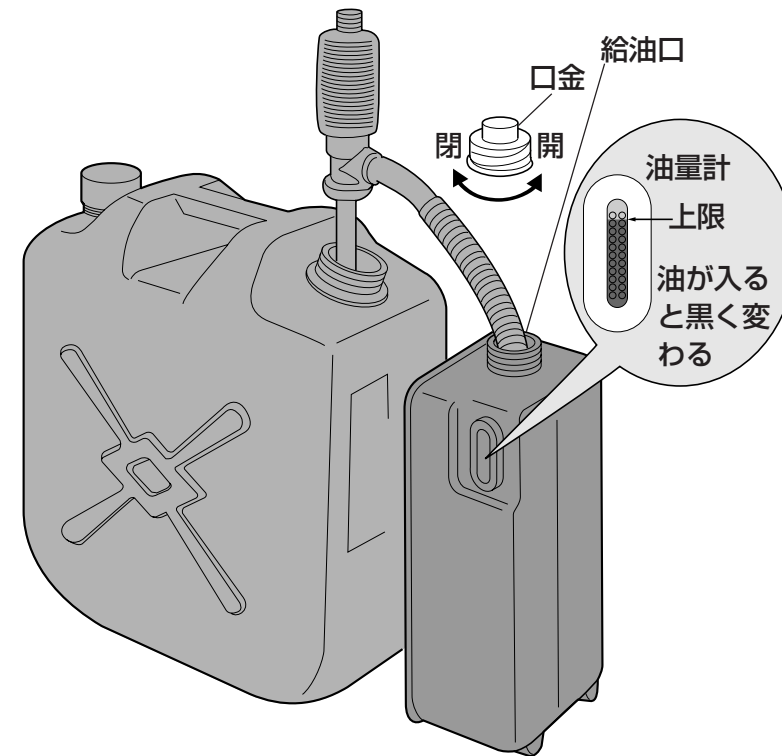
極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

不純灯油とは

- 灯油以外の油（てんぷら油や機械油、重油、ガソリン、シンナー）などがほんのわずかも混入した灯油。
- 水やごみ、ドラム缶のさびなどが、混入した灯油。
- 灯油水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

給油のしかた

給油の前にポリタンクの中に水が入っていないか確認してください。
給油タンクに水が入ると点火不良やしん上下不良、さびの原因になります。



1 消火ボタンを押し、消火を確かめる

2 給油タンクを取り出し、逆さにし口金をはずす

- 口金にはゴミがつかないように注意する。
- 給油口、口金にさび、変形、および破損がないか確認する。(14ページ)

3 給油する

- 油量計を見ながら、上限をこえないように給油する。
- こぼれた油は、ふき取る。

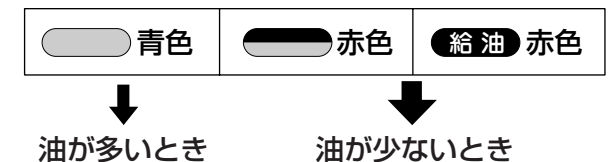
4 口金を締める

- 口金を下にして、油漏れがないか確認する。

5 給油タンクを本体にもどす

■給油するときの目安

- 油が少なくなると、給油サインが赤色になります。
- 完全に赤色になってから、約1時間後に油切れになります。



■灯油の保管は大切に

- 灯油は火気、雨水、ゴミ、高温及び直射日光を避けた場所に必ず保管してください。
- 灯油は翌シーズンに持ち越さない
シーズン終了前に使いきってください。
 - 灯油は直射日光を避け、赤、青などの着色されたポリ容器（灯油用）で保管してください。ポリ容器のふたは確実にしめてください。
 - ポリ容器に雨水がかからないように
灯油に水が混入し、燃焼不良の原因になります。



■変質灯油、不純灯油を使用すると1～30日でタールが異常にたまり

- 点火不良やしんが上下しなくなる。
- すすが出たり、激しいにおいがする。
- 燃烧筒の赤熱不足、異常燃焼になる。

■水が混入した灯油を使用すると

- 点火不良や燃えなくなり、火が消える。
- しんに水を含み、しんが上らなくなる。
- 給油タンクや固定タンクがさびる。

■万一、変質灯油、不純灯油を使用したときの処置

- 給油タンク・固定タンク内の油を入れ替える
(17ページ)
- しんのお手入れをする(15ページ)
それでも効果のないときはお買い上げの販売店に連絡する。(しんの交換が必要です)

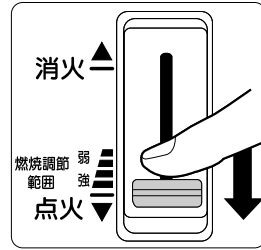
変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼された場合は、保証期間中でも保証の対象外となります。

お使いになる前に

使いかた 点火・消火のしかた

点火

■電子点火のしかた



操作つまみを止まるまで押し下げる

- 1秒後に「ピー」という放電音がして点火します。
- 点火時、多少においがします。
- 点火しない場合は、一度操作つまみを離してください。(約1.5秒放電を続けます)それでも点火しない場合は再度点火操作をしてください。
- 点火後約5分間「ポッポッ」と音がしますが、異常ではありません。

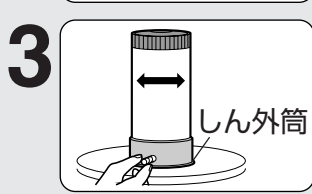
■マッチ点火のしかた (電子点火が使えないとき)



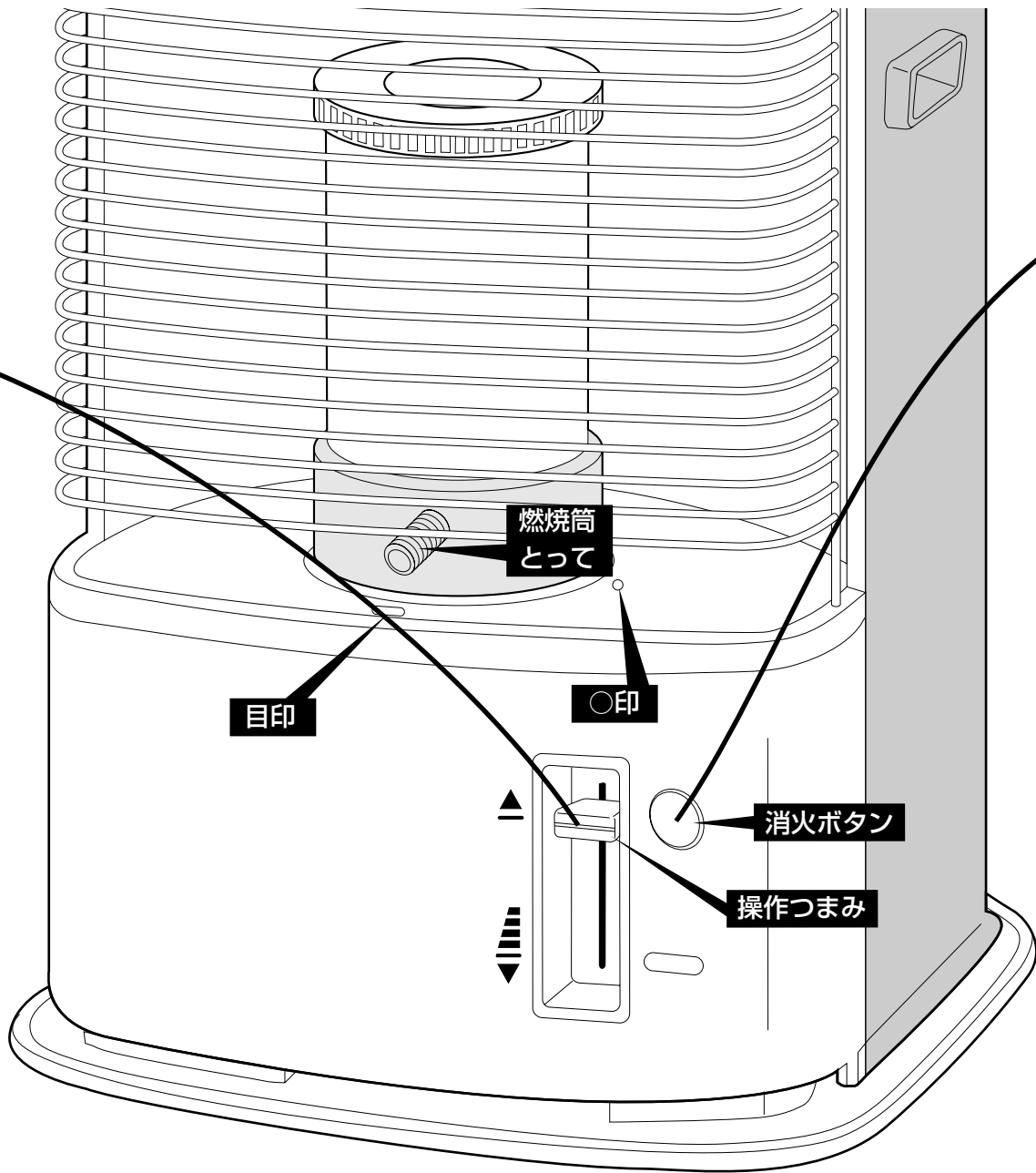
操作つまみを止まるまで押し下げ、ガードを開く



- しんに点火する
- 燃焼筒とってを反射板の○印まで回して持ち上げ、しんに点火する。



- 燃焼筒をもどし、ガードを閉める
- 燃焼筒をしん外筒の上にもどし、燃焼筒とってを左右に動かし、目印(○)の範囲内になるよう位置を合わせる。

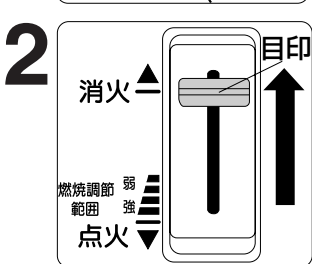


消火



消火ボタンを押す

- 操作つまみが消火位置にもどり、消火します。
- 操作つまみは強くもどりますので指をはさまないように。
- 消火時、多少においがします。



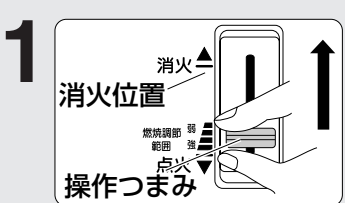
消火を確認める

- 操作つまみの目印が消火位置にもどり、火が確実に消えたことを確かめる。
- 消火したときの音が気になるときは操作つまみを消火位置まで引き上げて、消火してください。

■消火ボタンを押しても消火しないとき

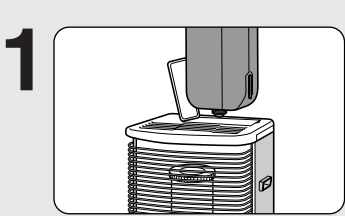
- しんの上端部にタールが付着し、操作つまみが消火位置にもどらないことがあります。

このようなときは



操作つまみを消火位置まで引き上げる
「しんのお手入れ」をする
(15 ページ)

操作つまみを消火位置まで引き上げられない場合は、



給油タンクを空にしたあと、本体にセットする



操作つまみを点火位置まで下げて、火が消えるまで燃やしてください。
(約60分)

お願い

- 使い始め、しんの手入れ、しんの交換の後は給油後、約15分待って点火してください。
- 工場での燃焼テストによりしんに灯油が含まれているため、給油前に乾電池を入れて、点火操作を行うと点火することがあります。
- 使い始めの点火後数分間は多少加工時に付着した油が焼ける異臭がします。
- 給油タンクについて
点火する前に必ず給油タンクをセットしてください。セットしないと給油時自動消火装置が働き、操作つまみがもどり、点火できません。

ワンポイントアドバイス

お部屋の保温をしましょう

カーテンを二重にして床までの長さにして暖房すれば、お部屋の熱を逃がさず、暖かさが保てます。



手についた灯油は

サラダ油を少し手につけ、こすりましょう。その後石けんで洗えば、いやなおいも落とせます。



こぼれた灯油はすぐキレイに

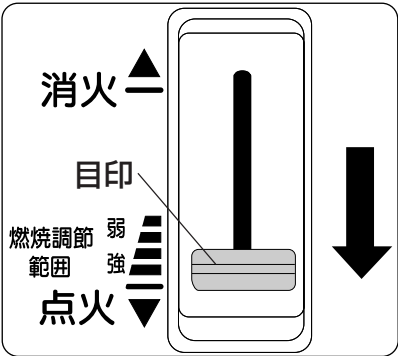
こぼれた灯油の上に洗濯用粉末洗剤をふりかけ、灯油を吸い取ります。あとは、かわいた布でふきとってください。



使いかた 炎の調節のしかた

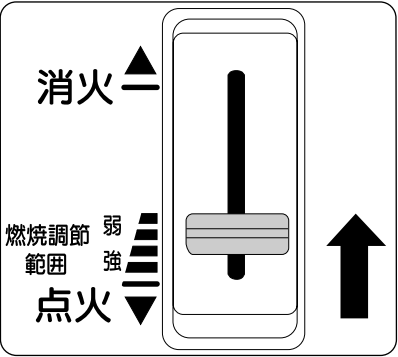
- 炎の調節は燃焼筒が十分赤熱してから、行ってください。
- 下記の燃焼範囲でご使用ください。

炎を強くするとき



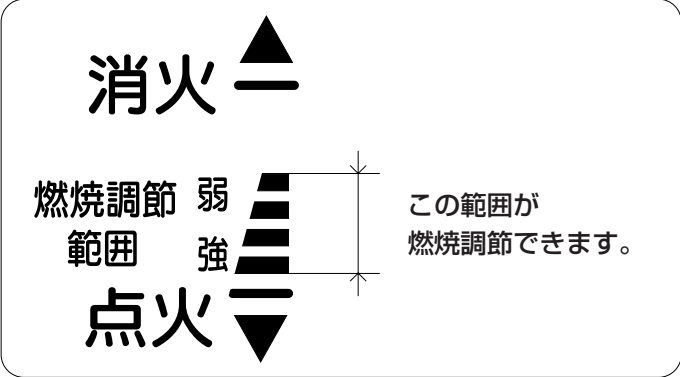
操作つまみを「強」
方向に動かす

炎を弱くするとき



操作つまみを「弱」
方向に動かす

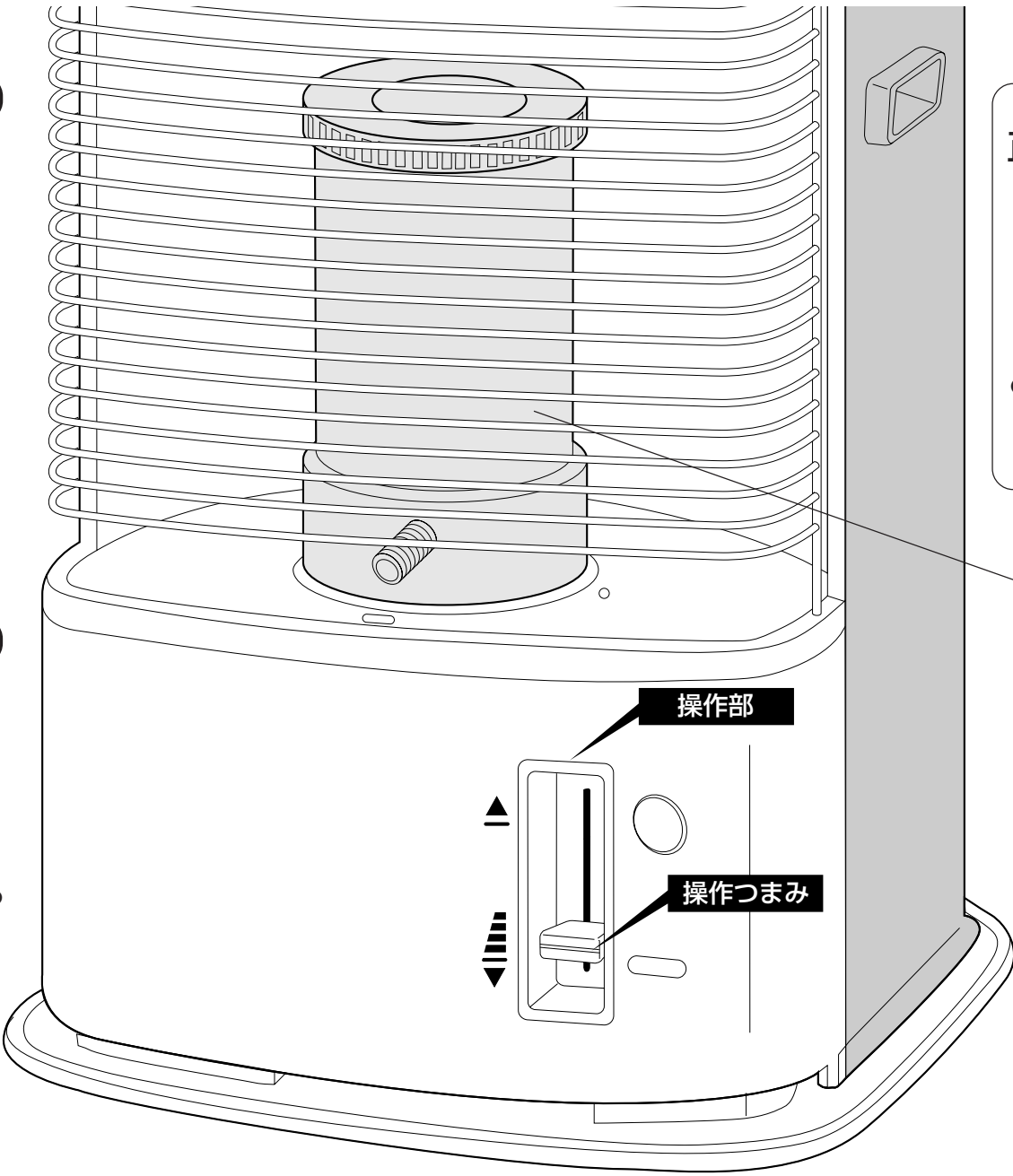
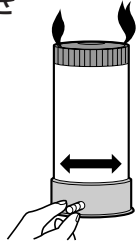
- 操作つまみの目印が「弱」位置を越えないように調節する。
(操作つまみが自然に止まる位置が下限の目安です)



お願い

- 「弱」から「強」に調節するとき、炎を見ながら、ゆっくり行ってください。
急激に動かすと、一時的に炎が大きくなり、天板から炎が出たり、すすが発生することがあります。
- 炎が大きくなったとき
操作つまみを「弱」方向に動かして、「正しい炎の状態」(P13ページ)に調節してください。

- 部分的な過大炎や赤熱ムラが出るとき
燃焼にとってを左右に2～3回動かしてください。
それでもなおらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
風(弱い風でも)があるときは、製品に当たらないようにしてください。



警告

正しい炎の状態を使用する

(上限) (下限)

炎の長さが 1 / 3 くらいが 1～2cm 赤熱している

● しんを下げ過ぎた状態で使うと、不完全燃焼し、においや一酸化炭素の発生の原因になります。器具を傷めることにもなります。

〔過大炎〕 (しんの上げすぎ) 〔過小炎〕 (しんの下げすぎ)

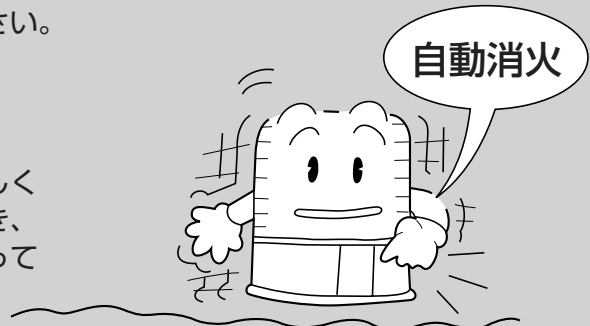
対震自動消火装置

使用中、強い地震 {震度5(強)以上} や衝撃を受けたときはしんを下げ、自動的に消火します。

- 地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認した後、再点火してください。

対震自動消火装置を正しく働かせるために

- しんにタールがたまっている場合は対震自動消火装置が正しく働かないことがあります。消火ボタンを押して消火したとき、操作つまみが消火位置にもどらないときは、タールがたまっていますので必ずしんのお手入れをしてください。
(P15ページ)




日常の点検とお手入れのしかた


お手入れするときは消火し、冷えたことを確かめてから、お手入れしてください。

お手入れの前に必ずお守りください

■高電圧注意



高圧注意



注意

- 点火電極は点火時に高電圧を発生させます。電池を取り外した直後、操作つまみを押し下げると、高電圧を発生する場合があります。手を触れないでください。感電するおそれがあります。特にお子さまやお年寄りなどにご注意ください。
- 点検・手入れ、掃除をする時は必ず乾電池を取り外し、操作つまみを押し下げ、放電させてください。

使用ごと

点 検 個 所	点 検 内 容	処 置 方 法
ストーブの周囲	● 可燃物がないか。	● 周囲を整理・清掃し、可燃物をかたづける。
油漏れ・油のたまり・油のにじみ	● 置台に油のたまりがないか。 ● 給油中に給油タンクから油漏れ、油のにじみがないか。	● 漏れたり、たまっている油をふきとる。 ● 油漏れしているときは新しい給油タンクと取り替える。 (お買い上げの販売店にご相談ください)
外観 (キャビネット、反射板) 置台など	● 油やほこりで汚れていないか。	● 乾いたやわらかい布でふく。 (ベンジン、シンナー、クレンザーなどでふかない)
外観 (天板)	● 化繊などのほこりが焼きついたり、汚れていないか。	● しめらせたやわらかい布にクレンザーをつけてふく。(天板はホーロー仕上げですので、汚れがとれます)
燃焼筒	● 変形がないか。 ● ガラスに割れやふいても取れない白いくもりがないか。	● 交換する。 (お買い上げの販売店にご相談ください)
給油タンク	● 給油口・給油口口金にさび、変形、および破損がないか。	● さび、変形、および破損があるときは新しい給油タンクと取り替える。 (お買い上げの販売店にご相談ください)
乾電池	● 点火しにくくなったり、点火の「ピー」という放電音が低くなったり、途中でとぎれることがないか。 ● 消火時のにおいが強くなっていないか。	● 新しい乾電池 (単 2 形 4 個) に取り替える。

1 ヲ月に 1 回以上

点 検 個 所	点 検 内 容	処 置 方 法
燃焼部品 (しん外筒、しん案内筒上部など)	● タールやごみが付着していないか。	● ⊖ ドライバーやブラシできれいに取り除く。
対震自動消火装置	● 本体を水平にゆすって消火装置が作動し、操作つまみが消火位置にもどるか。	● 作動しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

次のことを必ずお守りください

- 対震自動消火装置を分解・調節しない。
- しんを切ったり、引っぱったりしない。

1 シーズンに 1 ～ 2 回

- 置台や置台内部のほこりを掃除する。
ほこりがたまると異常燃焼の原因になることがあります。
- 給油時自動消火装置を点検する。
操作つまみを下に止まるまで押し下げて、給油タンクを持ち上げ、作動するか確かめる。

しんのお手入れ (から焼きクリーニング)

- しんのお手入れ中にはにおいが発生しますので、屋外で風が当たらないようにして、行ってください。
- 風が当たる場所で行うと、異常燃焼や火災の原因になりますので、必ず風の当たらない場所で行ってください。

しん先端にタールやカーボンが付着すると、次のような現象がおこります。

- 燃焼筒が赤熱しない。
- においがする。
- しんの上下操作が重くなる。
- 点火しにくくなる。
- 消火時、操作つまみがもとまで戻らない。

このようなときは次の手順にしたがってしんのお手入れを行ってください。

1 給油タンクを空にし、本体にセットする

2 点火し、燃焼させる

3 燃やしきる
自然に火が消えるまで (約 60 分) 燃やしきる。

お願い

- 1 回のしんのお手入れで効果がないときは
給油して、約 15 分間 (しんに灯油が十分吸い上げられるまで) 放置した後で、上記の手順で再度しんのお手入れを行ってください。
しんのお手入れをしても効果がないときは新しいしんと取り替えてください。(P.17 ページ)
- しんのお手入れ後使用されるときは
給油後約 15 分 (しんに灯油が十分吸い上げられるまで) 待って点火してください。

定期点検について

定期点検のおすすめ (2 シーズンに 1 回)

- 長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。
2 シーズンに 1 回程度、シーズン終了後などにお買い上げの販売店または修理資格者【財団法人日本石油燃焼機器保守協会 (TEL03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) など】のいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。

お手入れ・保管

14

15

故障かな？

修理・サービスを依頼されるまえに

次の表に従ってもう一度お確かめください。直らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「お客様ご相談センター」(☎18ページ)にお問い合わせください。

原 因		現 象									処置方法	参照ページ
		点 火 時			燃 焼 時			消 火 時		においがする		
		点火しない・しにくい	火の回りが遅い	炎が大きくならない	燃える赤火やすすが出て	燃焼筒が赤熱しないむらがある	炎がかたよる炎の調節ができない	消火しない・しにくい	しんが下らない			
燃料	変質灯油、不純灯油が混入している	●	●	●	●	●	●	●	●	●	油を抜き取り、しんを交換し良質の灯油を使用する 抜いた灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください	17
	ガソリン等、揮発性の油を使用				●		●	●		●		
しん	上げすぎ				●		●	●		●	しんを下げて炎を正しい炎の状態にする	12
	下げすぎ		●	●		●				●	しんを上げて炎を正しい炎の状態にする	12
	タールが付着している	●	●	●		●	●	●	●	●	しんのお手入れを行う	15
	灯油が吸い上げられていない	●	●	●		●					使い始め、しんのお手入れ後（から焼きクリーニング後）、しん交換後は約 15 分待つ	10
	しんが変形・消耗している	●	●	●		●					しんを交換する	17
乾電池が正しく入っていない、又は消耗している		●								●	⊕⊖を正しく入れなおす、又は乾電池を交換する	8
給油タンクが本体に入っていない		●									給油タンクを本体に入れる	10
燃焼筒が正しくセットされていない					●	●	●			●	燃焼筒を正しくセットする	8
燃焼筒部品の変形・破損					●	●	●				新しい部品と交換する	17

部品交換について

しんの取り替え

しんの取り替えはお買い上げの販売店へ依頼されることをおすすめします。
しんは必ず JIS 適合検査合格品「ナショナル石油ストーブ用替えしん R-28」(右のマーク付) をご使用ください。
取り替えかたは替えしんに同こんの「石油燃焼器具用しん取扱説明書」に従ってください。



燃焼筒の交換

● 燃焼筒が著しく変形したり、ガラスが破損したときは、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お願い

- 交換部品はストーブをお買い上げの販売店で必ず「ナショナル石油ストーブ」の純正部品をお求めください。
指定以外の部品を使用しますと事故や故障の原因になります。
- 不完全な修理は危険です。お買い上げの販売店または財団法人日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）などのいる販売店の修理をお受けください。

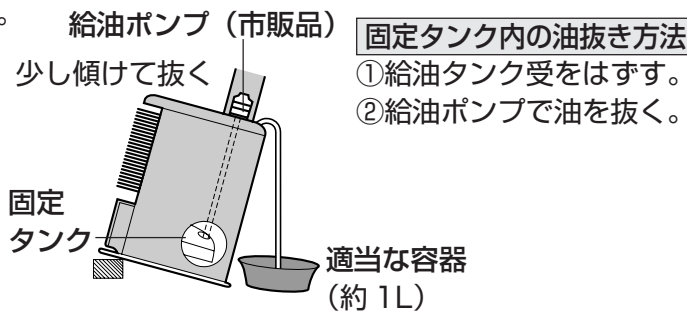
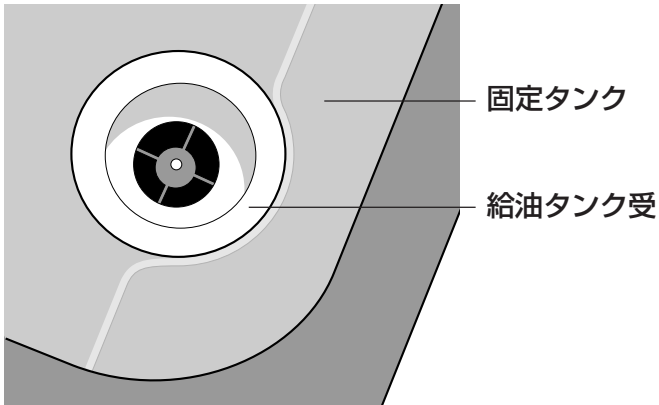
消耗・劣化しやすい部品

- 使用期間により交換が必要な部品
しん(R-28) 乾電池 燃焼筒 点火電極
- 変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品
しん(R-28)

保管のしかた

長期間使わないとき 次の要領でお手入れしてください。

- 1 給油タンク・固定タンク内の油を全部抜き取る
水、ゴミなどを残したまま保管すると、タンク内面のさびや穴あきの原因になります。
- 2 しんのお手入れをして、しんを下げる (☎15ページ)
しんの寿命を延ばし、長くご使用いただくためです。
- 3 ストーブの外観を掃除する
天板、キャビネット、反射板、置台などを掃除する。
- 4 乾電池を取りはずす
- 5 保管する
乾燥した場所に保管する。
傾けたり、横倒しの状態で保管しない。



お手入れ・保管

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

修理を依頼される時

- 16 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。


- 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保存してください。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 補修用性能部品の保有期間
当社は、この石油ストーブの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	石油ストーブ
品 番	OS-L26D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

- 修理に出すときは
修理に出すとき、運搬するときは
灯油を抜いてください。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話  **0120-878-365**
フリーダイヤル

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX  **0120-878-236**
フリーダイヤル

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

北海道地区		近畿地区	
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631
滋賀		奈良	
守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021		大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	
京都		和歌山	
京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636		和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984	
大阪		兵庫	
大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225		神戸市中央区夢ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645	
東北地区		中国地区	
青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	松江	松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
山形	山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100	浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301	岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
首都圏地区		広島	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
栃木	宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
水戸	水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
つくば	つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	高知	南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	愛媛	松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
千葉	千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011	九州地区	
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171	佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720	長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171	大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
中部地区		宮崎	宮崎市本郷北方草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
富山	富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
福井	福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長野	松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
静岡	静岡市西島765 ☎(054)287-9000	沖縄地区	
名古屋	名古屋市長瀬区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207
岡崎	岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719		
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010		
高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613		
三重	久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380		


所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お手入れ・保管

仕様

型 式 の 呼 び		OS-L26D
種 類		しん式・放射形
点 火 方 式		高圧放電点火
使 用 燃 料		灯油（JIS 1 号灯油）
暖 房 出 力		2.75 kW
燃 料 消 費 量		0.267 L/h
油タンク容量		4.4 L
燃 焼 継 続 時 間		16.5 時間
しん	種 類	普通筒しん（R-28）
	呼び寸法	φ 63 × 2.5 mm
安 全 装 置		対震自動消火装置（重錘転倒しん降下式）
外 形 寸 法		高さ 495 mm × 幅 344 mm × 奥行 331 mm（置台を含む）
質 量		7.5 kg

※乾電池は別売です。単 2 形の同じ種類の新しいものを 4 個用意してください。

愛情点検 長年ご使用の石油ストーブの点検を！		
	この様な症状は ありませんか <ul style="list-style-type: none">● 油漏れがする● 強い臭いがする● 激しくすすが出る● 消火操作しても、火が消えない● その他の異常や故障がある	▶ 以上のような症状のときは 使用を中止し、故障や事故 の防止のため必ず販売店に 点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	販 売 店 名	☎（ ）－
品 番	OS-L26D	お 客 様 ご 相 談 窓 口	☎（ ）－

松下電器産業株式会社 リビングサポートシステム事業部

〒 639-1188 奈良県大和郡山市筒井町 800 番地

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. （松下電器産業株式会社）2000

OSL26DB
(OS-36960BOP2)
S0300N3073